

循環器内科で入院された患者さまへ

身体ならびに認知機能の評価における在院日数の関係性に関する研究について

南多摩病院では、循環器の病気で入院されていた患者さまの、診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さまへの新たな負担は一切ありません。また、患者さまのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

本研究への参加をお断りになった場合でも、今後の治療を受けるうえで不利な扱いを受けることは決してありません。一旦研究に参加することを同意した場合でも、随時これを撤回できます。同意を撤回する旨の申し出を受けたときは、遅滞なくデータベースからあなたに関する情報を削除します。

【研究目的】

患者の身体並びに認知機能の評価を行うものに、Functional Independence Measure(機能的自立度評価法)(以下「FIM」という)があります。整形外科領域・脳卒中領域のリハビリテーションにおける研究は多数行われていますが、心臓領域のリハビリテーションに関する研究は少なく、さらに高齢者をフォーカスした研究はさらに少ない状況です。現在日本を含めた先進諸国では高齢者の医療への負担が大きく、特に医療機関での入院日数の延長は経営に対しても負担を与えております。本研究は、弊院における入院時ならび退院時のFIMスコア等をもとに、在院日数の延長との関係性を明らかにすることを目的とします。

【研究対象者】

2015年4月1日から2020年3月31日の間に、南多摩病院循環器科において入院をされ、リハビリテーションの施術を受けた65歳以上の方を対象とします。

【研究に使用する情報】

年齢、性別、入院時・退院時のFIMスコア、両側の握力、HDS-R(長谷川式簡易知能評価スケール)をもとに解析を行います。なお新たに加わる身体的および経済的、医療的負担はありません。

【情報の他機関への提供】

本研究は、研究の目的・方法を含め、他機関へ当院の保持する情報を提供することについては、医療法人社団永生会南多摩病院倫理委員会より承認を得ております。

【個人情報の取り扱い】

個人を特定する情報については、匿名化して解析に使用されます。

【本研究の資金源（利益相反）】

利益相反状態とは、「研究結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態」をいいます。この研究では研究費等は発生しないため、このような利益相反の状態にはなりません。

【問い合わせ先】

当院研究責任者：医療法人社団永生会 南多摩病院 診療部 光永敏哉

住所：〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1

電話番号：042-663-0111

以上